

12月20日 中学校集会

おはようございます。二学期最後の週が始まりましたね。

先日の全校集会では、これからが大切だという話をしましたが、残りの期間を考えると楽しかった行事などが終わり、少し寂しい気持ちでいる人もいます。今朝は、9年生の皆さんに関わる話なのですが、7・8年生もしっかりと聞いてください。

皆さん、「リスペクト・アザーズ」という言葉を覚えていますか？

9年生は、何度か耳にしていると思います。直訳すると、「他人を尊重する」という意味ですが、自分だけでなく仲間をしっかりと理解して、仲間を大切にしてほしい、そして温かい集団になってほしい、という願いが込められた言葉です。

皆さんは9年間という義務教育の中で、たくさんの学習や体験を通して社会に立つために必要な経験をしています。

学力をつけて、体力もつけて、心も成長しています。

社会では、一人一人にかかってくる責任も大きくなってきますが、責任が大きくなるからこそ大切なのは、他人を大切に思う心の大きさだと思っています。

9年生は、進路に向かう本格的な時期です。それを踏まえて、先生からお願いしたいことがあります。それは「友だちの進路を尊重する」ということです。

初めての進路選択にみんなそれぞれ不安があります。家で相談し、学校で相談しながら、それぞれの進路を真剣に考えています。そんな時に、仲良しの友達であっても「その人が決めた高校について、〇〇高校はやめとき…とか、〇〇高校だったら行けると違う？」などの言葉かけは、実は無責任な言葉かけになるかもしれません。なぜなら、それぞれの考えや将来の希望も人それぞれですし、何より学力もみんな違うわけです。

自分で考え抜いて志望校が決まったら、あとは迷うことなく入試勉強に集中してほしいと思います。

「友だちの進路を尊重する」ということも「リスペクト・アザーズ」の精神だと思いませんか。

7年生8年生の皆さんも、1年はあっという間に過ぎていきます。

今日、お話しした「リスペクト・アザーズ」の精神は、咲洲みなみの精神になってほしいなと考えています。仲間を大切にすることの意味について考えてください。

どうか、自分を大切にするとともに、周りの人や友達も大切にできる素敵な人になってほしいなと心から願っています。

以上